

国語科学習指導案

日時・場所 平成21年7月8日(水) 第5校時 3年D組教室
生徒 3年D組(男子15名 女子16名 計31名)
指導者 黒淵大介

- 1 単元名 1 心の在り方
教材名 「握手」 (光村図書 三年)

2 単元について

(1) 生徒について

素直で明るい生徒が多く、与えられた課題に取り組んだり、ノートをしっかりと取るなど落ち着いて取り組む雰囲気である。しかし、その反面、じっくり考えることを苦手としている生徒も見られる。学力差が大きい生徒もいるが、優しく、思いやりのある生徒も多いので、グループの話し合い活動などで協力させ、授業に関わるようにさせたい。1年生から朝読書を行っており、文章を落ち着いて読むことができる。

昨年度実施したCRT検査の結果は、「話すこと聞くこと」(全国比104)と「言語事項」(同102)で全国平均を上回っているが、「書くこと」(同98)「読むこと」(同97)で全国平均を下回っている。さらに、小領域別の内容で見ていくと、「文章の要旨を正しく読み取ること」の全国比が91と、最も低くなっている。また、「文の照応に注意して書くこと」の正答率が全国比95と、全国平均を下回っているので、文章中に根拠を求めて読み取ったり、正しい構成で表現する力が不足していると考えられる。書くことや話し合い活動に対する抵抗感はないが、適切な語句を使ったり、論旨の展開に注意して話す力が不足している生徒が多い。また、語彙が不足している生徒もあり、表現力に差がある。

(2) 教材について

少年時代を養護施設で過ごした「わたし」と、かつて園長を務めてたルロイ修道士との再会を描いた物語である。「わたし」の一人称で書かれており、修道士と語る現在と「わたし」の回想の場面で、ルロイ修道士の温かい人間性が描かれている。子どもたちを愛し、子どもたちに尽くしたルロイ修道士のエピソードを通して、生きることと死ぬこと、人と人とのつながりの温かさをしみじみと感じさせる作品である。この作品の特徴として、ルロイ修道士の「指言葉」が挙げられる。しぐさの一つ一つが、言葉にならない心情を表現しており、作品に奥行きを与えている。

人生において「どのような生き方をするか」は大切なテーマである。数々の困難に遭遇しながらも、人間に対して絶望することなく、自分の理想を实践してきたルロイ修道士の生き方を考えることは、自分たちの生き方を考える時期にある3年生の生徒にとって適した作品であるといえる。

(3) 指導にあたって

1年生で「にじの見える橋」、2年生で「雨の日と青い鳥」の学習を通し、表現や行動、情景描写から、登場人物の心情を読み取る学習を重ねている。これまでの学習を踏まえたうえで学習の展開を図りたい。

指導に当たっては、握手や指言葉などの行動やエピソード、発言から心情を読み取らせたい。3回の「握手」に込められたそれぞれの思いと関係の変化を的確に読み足らせたい。全編にちりばめられた指言葉は、登場人物の思いを繊細に表している。主題につながるラストシーンの「わたし」のしぐさを読み取るために、指言葉の意味を一つずつ丁寧に押さえさせたい。

生徒の経験値や成長度により、読み取りに違いが出てくることも予想される。友達の見えをもとに考えを深めることで、ルロイ修道士の生き方や考え方について、自分なりの意見を持たせたい。そして、自分自身の生き方についても考えるきっかけにさせたい。

3 単元の目標

〈関心・意欲・態度〉

- ・作品を読んで、登場人物の心情について話し合わせる。

〈話す・聞く〉

- ・自分の考えや思いをわかりやすく話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりさせる。

(ウ・エ)

〈書くこと〉

- ・登場人物の心情や行動の背景について、自分の考えや根拠を明確にしてまとめさせる。(イ)

〈読むこと〉

- ・会話やエピソードから読み取れる登場人物の生き方や考え方について考えさせる。(イ)
- ・文章表現や構成上の工夫、効果に気づかせる。(ウ)

〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

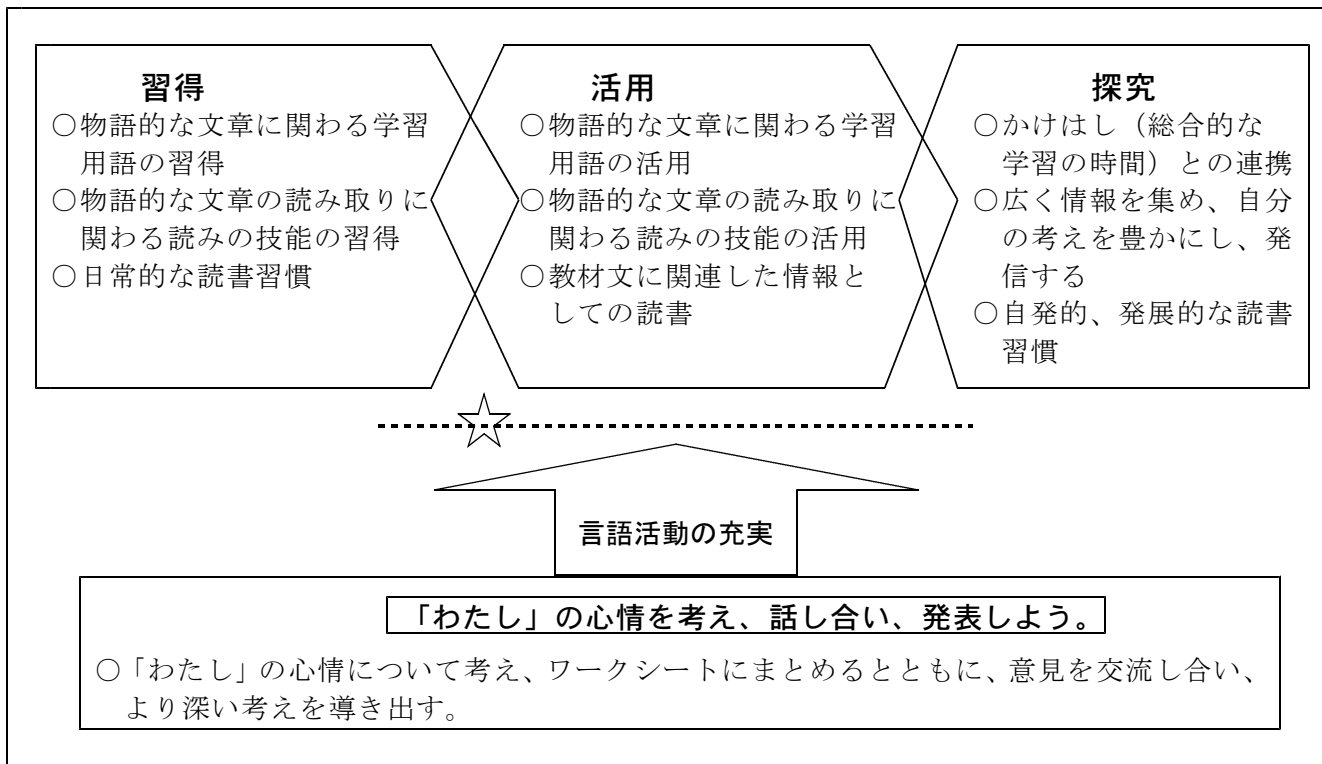
- ・文脈における語句の意味を的確にとらえさせる。((1) イ)
- ・語句の効果的な使い方について理解させる。((1) イ)

4 単元の指導計画・評価規準(6時間扱い)

(1) 単元全体の評価規準

時 間		評 価 規 準			
		学 習 内 容	関心・意欲 態度	読 む	国語の特質
一	1	・全文を通読し、初発の感想を持つ。	・進んで作品を読もうとする。	・登場人物や背景に着目し、初発の感想をまとめることができる。	・文中の漢字を読むことができる。
	2	・作品の構成をとらえ、ルロイ修道士の人柄や生き方を読み取る。		・作品の「時」の流れを読み分け、構成を理解する。 ・エピソードの内容から、ルロイ修道士の人柄や生き方を読み取ることができる。	・時や人柄を表す語句や表現に気づくことができる。
二	3	・ルロイ修道士や「わたし」の行動に込められた心情を読み取る。	・言葉に着目しながら読み取り、ルロイ修道士や「わたし」の心情を考える。	・指言葉や会話の内容から、心情や生き方を読み取ることができる。	・文中の語句に気づくことができる。
	4	・ルロイ修道士の現在の状況や、言葉の意味を読み取る。		・現在のルロイ修道士の状況を考え、遺言の意味を読み取ることができる。	
	5 本時	・大人になった「わたし」にとってのルロイ修道士に対する心情を読み取ることができる。		・葬式でのわたしの指言葉から、「わたし」の行動と心情を読み取ることができる。	
三	6	・作品の主題を考え、タイトルの意味について考えることができる。	・作品の主題を考えることができる。	・握手に込められた思いを読み取り、タイトルの意味を考えることができる。	・主題を映し出している語句や表現に気づくことができる。

(2) 単元における「習得」「活用」「探究」の学びの流れと、言語活動の充実をはかる手立て



5 本時の目標

(1) 目標

大人になった「わたし」にとって、ルロイ修道士はどのような人か考え、ルロイ修道士に対する思いを手紙文の形式で表現することができる。

(2) 具体の評価基準

A 十分満足できる	B 概ね満足できる	Bに至らない生徒への手立て
前時までの学習内容を押さえ、「わたし」の指言葉の意味を考え、ルロイ修道士への手紙で表現することができる。	本時の学習内容を押さえ、「わたし」のルロイ修道士への心情を、手紙形式で表現することができる。	「指言葉」の意味から想像され「わたし」の心情を押さえ、「お前」に対する視点と、「わたしの」思いをまとめさせる。

(3) 指導の構想

『わたし』の行動に込められた心情を読み取り、作品の理解を深めさせる」ために、ルロイ修道士が亡くなった後の場面から、以下の手立てをとり学習の理解を深めさせる。

- ① 前時までの学習内容（ルロイ修道士の人柄等）を振り返らせる。
- ② ルロイ修道士の4つの指言葉の意味を確認する。
- ③ ルロイ修道士の葬式の場面で、「わたし」はどんな指言葉を使ったか考える。
(個別→グループ学習)
- ④ 「お前は悪い子だ」という指言葉の意味を考える。
- ⑤ 「わたし」の心情を、ルロイ修道士にあてた手紙形式の文章で表現する。
- ⑥ 全体で考えを交流し、精査させる。
- ⑦ 「わたし」の心情を考える視点をまとめる。

(4) 本時の展開

	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点と評価の工夫 ☆ 留意点 ◎ 評価
導 入 5 分	1 前時の想起 2 学習課題の確認	1 前時のまとめを発表する。 2 課題を視写し、斉読する。	☆前時までの学習内容は、ノートで 確認させる。 ☆課題は教師が示す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ルロイ先生の葬式の場面で『わたし』が使った指言葉の意味を考え、先生に対する思いを表現しよう。 </div>		
展 開 40 分	3 学習場面の把握 4 「わたし」が使った指言葉を考える 5 「わたし」が使った指言葉の意味を考える	3 ルロイ修道士との別れの場面と、葬式の場면을指名音読する。 4 (1) 4つの指言葉の意味を確認し、どの指言葉を使ったか、ワークシートに記入する。 (2) グループで理由も話し合う。 (3) 全体で発表し、より深い考えを導き出す。 5 「お前は悪い子だ」という指言葉の意味を考え、その時の「わたし」の気持ちを手紙形式の文章で書く。	☆黙読で学習範囲を確認させる。 ☆どんな意味があったか確認させる。 ☆指言葉の意味から、選んだ理由も記入させる。 ◎グループや全体で意見を交流させることができたか。 ☆「お前」は誰(何)を指しているのかという視点を与える。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> お前 → 先生・・・無理をおして会いに来た わたし・・・先生の病気に気づかなかった 病気・・・先生の命を奪った </div>		
	6 「わたし」のルロイ修道士に対する思いを表現する。	6 (1) ワークシートをもとに、「わたし」のルロイ修道士に向けてのメッセージを書く。 (2) グループで交流し、全体で発表する。	☆病気を隠して会いに来たルロイ修道士への思いや、修道士を亡くした悲しみを想像させる。 ◎ 「わたし」の心情を考え、手紙形式で表現することができたか。 ☆ 視点の板書
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「わたし」の思い → 悲しみ やりきれなさ 感謝 </div>		
終 結 5 分	7 まとめ 8 時事の予告	7 自分が選んだ指言葉が入った文と、教科書の本文を比較し、作品の広がりを考える。	◎なぜ、「お前は悪い子」なのか考えることで、作品を批判的に読む。